

平成21年度
茅ヶ崎市国民健康保険における
特定健診未受診アンケートについて

茅ヶ崎市保健福祉部保険年金課
給付担当

I. 健診の受診率について

茅ヶ崎市国民健康保険では、平成20年度から特定健康診査等実施計画に基づき、特定健康診査・特定保健指導を実施しています。平成20年度に茅ヶ崎市国民健康保険で実施した特定健診の受診率は36.7%（表1）でした。この結果は、国の目標とする65%という水準に達していないというのが現状です。そこで、健診、指導の実施率向上に向けて、未受診者の特定健診、特定保健指導に関する考え方、受診行動実態等を調査し、今後の課題を把握するためにアンケートを実施しました。

表1 特定健診の受診者数

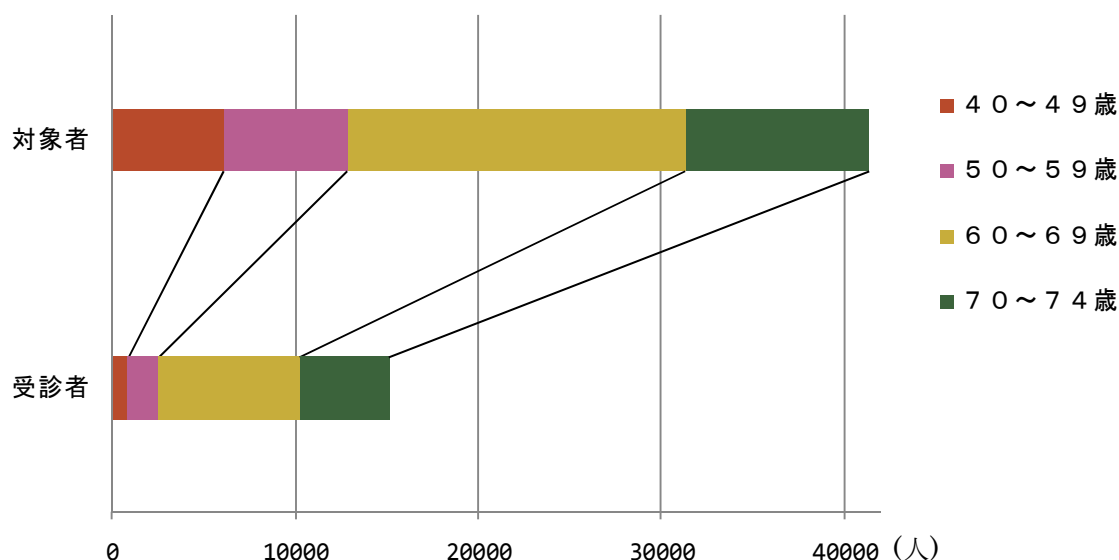


表1-1 受診者数 男性

茅ヶ崎市では、男性よりも女性が多く健診を受けています。健診の受診率も、女性の方が高くなっています。（表1-1、表1-2）

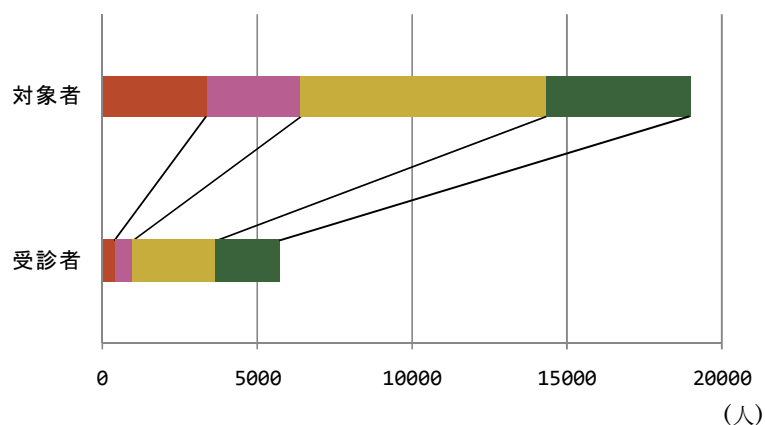
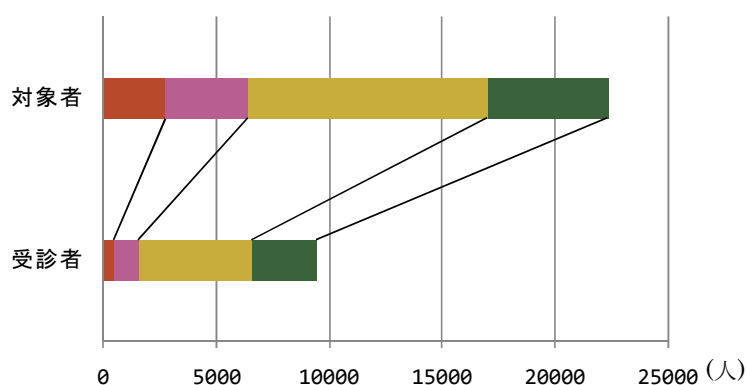


表1-2 受診者数 女性



また、男女ともに40歳から50歳代の受診率が低く、60歳以上になると、受診率が上がる傾向があります。

Ⅱ. 未受診に関するアンケート 調査方法

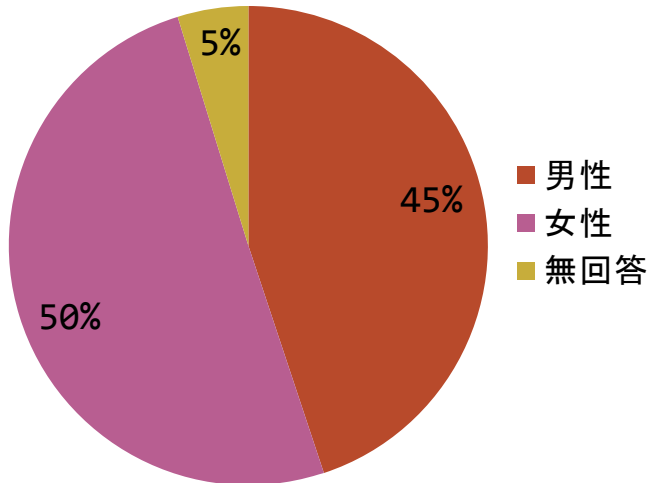
- 1) 調査対象 平成21年度の特定健診未受診者
- 2) 抽出方法 国保連合会特定健診システムの未受診者リストから年齢階層別無作為抽出法
- 3) 調査人数 4200人
- 4) 調査方法 郵送配布、郵送回収
- 5) 調査期間 平成22年3月10日～平成22年4月23日（必着）

Ⅲ. 未受診に関するアンケート 調査結果

- 1) 回答者数 1570人（有効回答率100%）
- 2) 回答率 37.4%

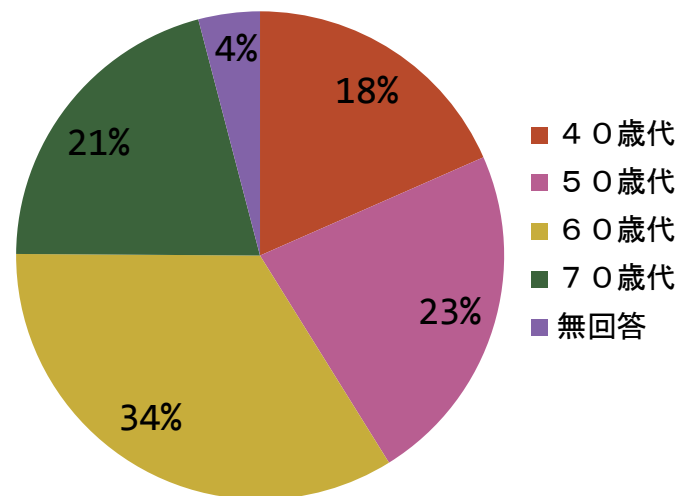
1. 回答者の属性

表 2-1-1 性別構成



○回答者は女性がやや多めだが、ほぼ同率の回答を得ることができた。
（表 2-1）

表 2-2 年齢構成



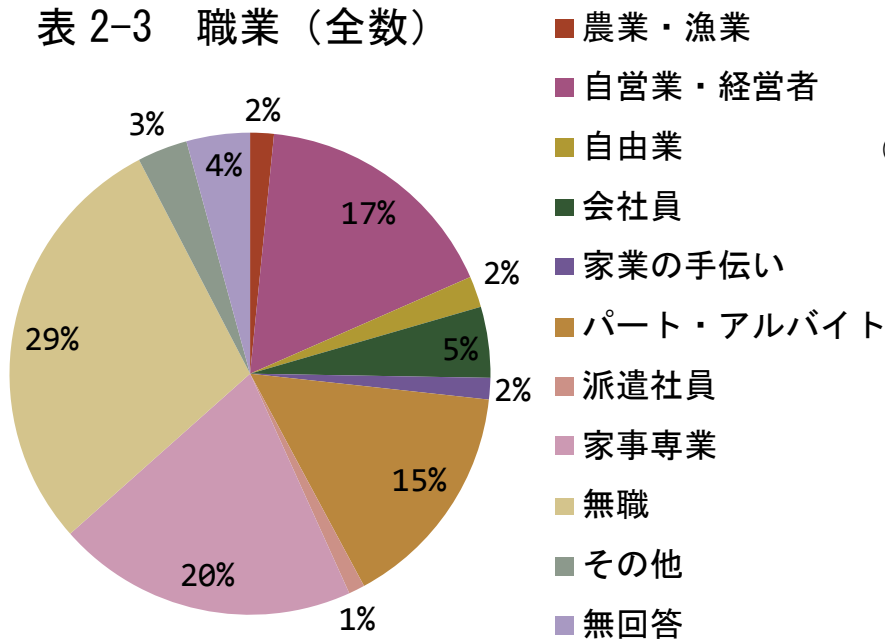
○年齢構成は、60歳代の回答が多めであるが、平均的に回答を得ることができた。
（表 2-2）

※注 70歳代は特定健診対象の74歳までが対象。

表 2-1-2 性別実数 n=1570

	回答数（人）
男性	705
女性	790
無回答	75

表 2-3 職業（全数）



○職業は、全数で見ると無職か家事専業が多い。次いで、自営業・自由業といった形となっている。（表 2-3-1）

○男女別では、家事専業を職業として選択している人はそのほとんどが女性で、男性で家事専業を選択している人は、705名中5名であった。これは、男性が家事専業を職業として認識していない性別による差も影響していると考えられる。（表 2-3-1）

表 2-3-1 職業（性別）

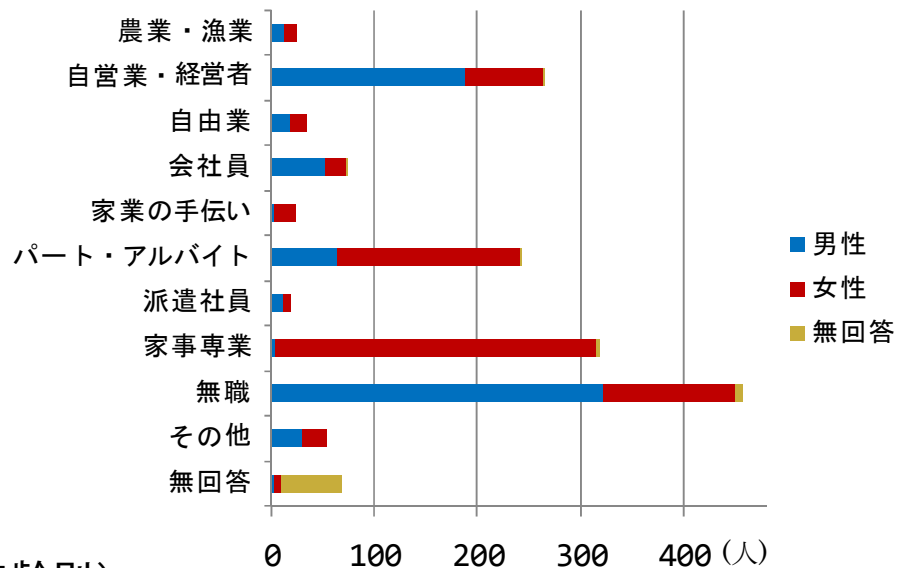
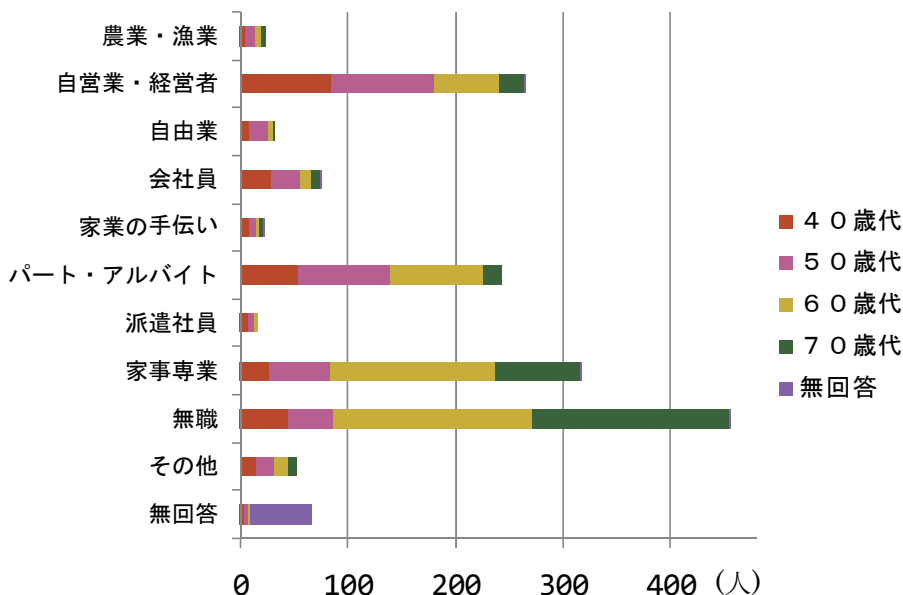


表 2-3-2 職業（年齢別）



○年齢別に見ると、職業にはそのライフステージの影響が大きく見られる。60歳以上では、定年退職の影響か、無職と回答している人が多い。逆に、40歳代から50歳代では、自営業・パート等と回答している人が多い。（表 2-3-2）

2. 特定健診の未受診の理由について

- 未受診の理由について、13の項目および自由記載の複数回答で質問した。その結果、全ての項目に回答が分散し、特出した項目はなかった。(表3-1)
- 上位項目は、年齢によって違いが出るという結果となった。これは、年齢によるライフスタイルの変化も関係していると考えられる。年齢別による上位項目がそのまま全体の上位項目に上がってきている。(表3-2)
- 特に受診率が低めの40歳～59歳の未受診理由を見てみると、忙しい・時間が合わないなどの理由が上げられており、日常生活の忙しさに紛れてしまい、健診を受けないままになっていると考えられる。

表3-1 特定健診の未受診の理由について(全数)

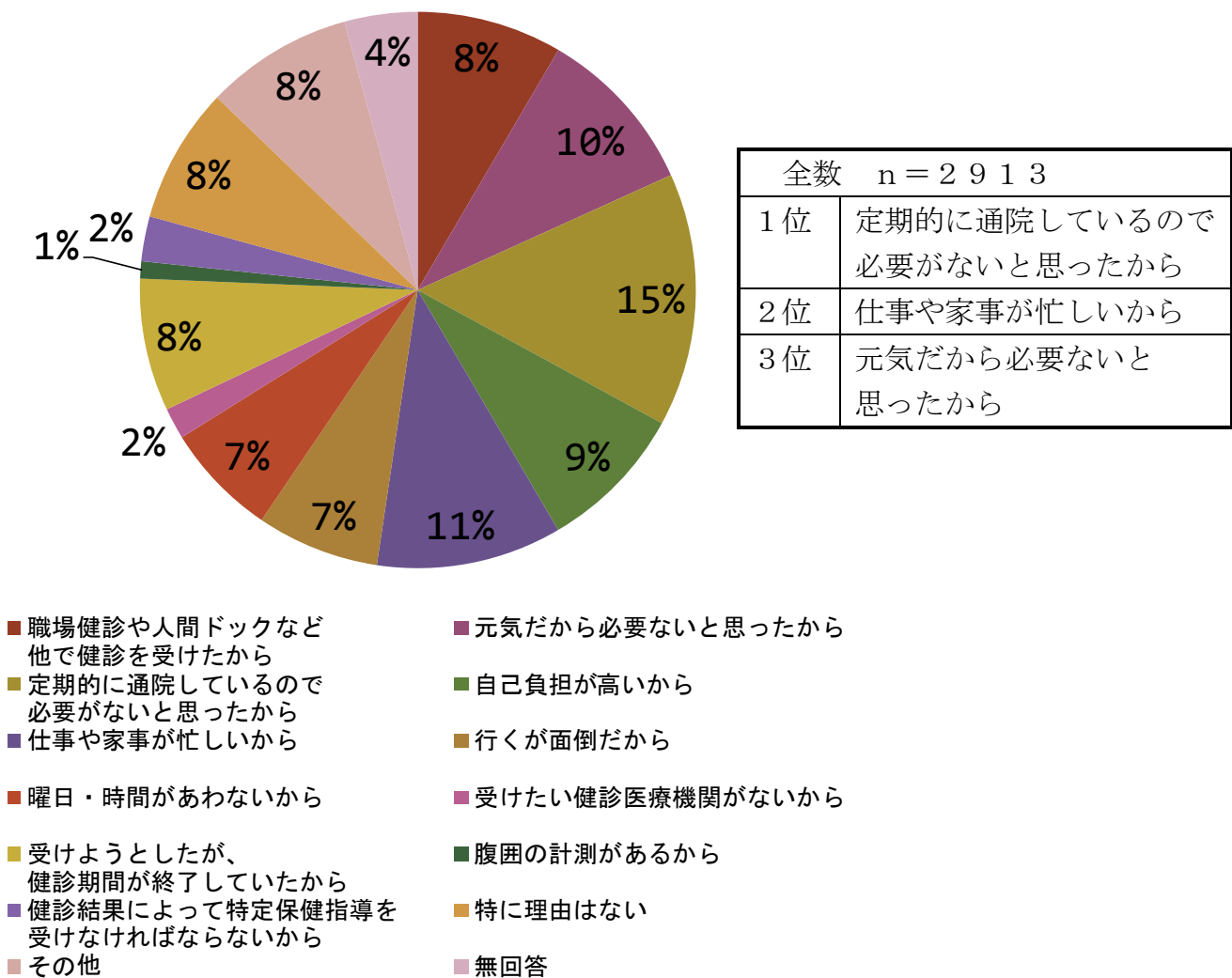


表3-2 特定健診の未受診の理由について(年齢別)

40歳から59歳 n = 1270	
1位	仕事や家事が忙しいから
2位	自己負担が高いから
3位	曜日・時間があわないから

60歳から74歳 n = 1525	
1位	定期的に通院しているのだから必要がないと思ったから
2位	元気だから必要ないと思ったから
3位	特に理由はない

※無回答 n = 118

3. 特定健診への要望について

表 4-1 特定健診への要望の有無

○特定健診に関する要望の有無について質問したところ、要望があると答えたのは、全体の30%であった。
(表 3-1)

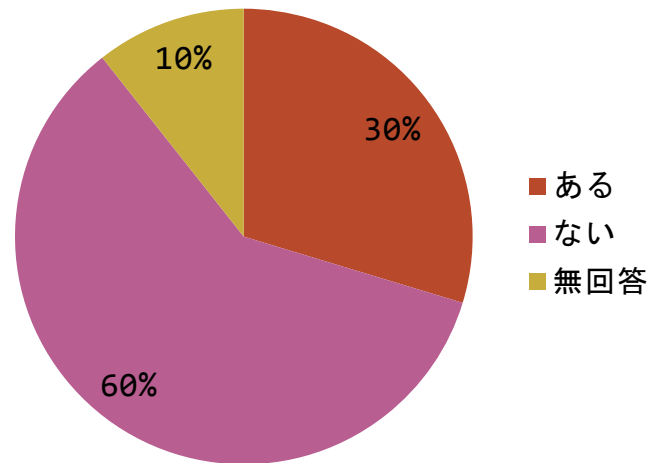
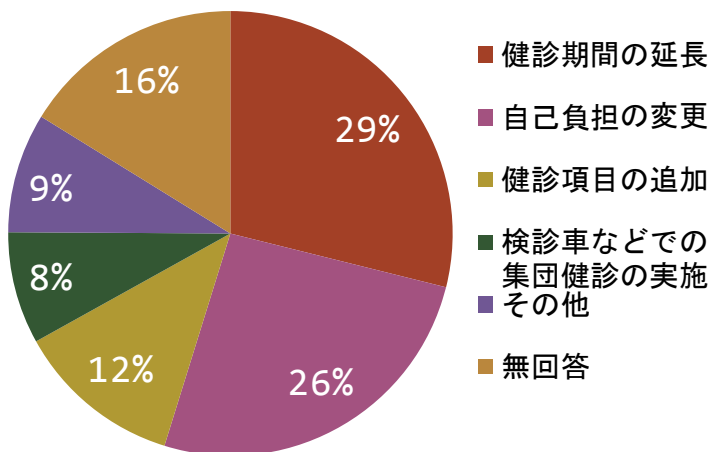


表 4-2 特定健診への要望(全体)



○要望の具体的な内容に関する設問は複数回答で、907件の回答があった。

○特定健診に関する要望では、期間の延長が最も多く、次いで自己負担の変更となっている。

(表 3-1)

○具体的に特定健診の期間が多かったのは、6ヶ月間。最短では3週間、最長は2年間であった。

○自己負担の変更に関しては、がん検診との混同が見られ、特定健診単体での具体的な金額計算はできなかった。

○追加健診項目の希望としては、がん検診に関する項目や、特定の疾患に関する検査項目があげられていた。

○また、人間ドックの様に1日で特定健診とがん検診全項目を受診したいという意見もあり、多くの検査を1日で受けたいという希望があることがうかがえる。

○特定健診とがん検診は別の事業であり、一部がん検診を除いて、同時に実施できるかは医療機関に委ねられているのが現状である。特に女性特有のがんに関しては、実施できる医療機関が限定されることもあり、同時受診ができないことがある。